

【応募用紙】

1 応募者概要

事業所	名称	かぶしきがいしゃきょうしんいんさつ 株式会社協進印刷		
	代表者役職・氏名	江森克治	従業員数	11人
	所在地	〒 221-0003 神奈川県横浜市神奈川区大口仲町 108		
	ホームページアドレス	http://www.kyoshin-print.co.jp/index.html		
	事業開始年月	1959年3月	環境への取組を開始した年月	2005年3月
	事業内容	①アート・クリエイティブ関連印刷物の制作・製造 ②広報誌の企画・編集・製造 ③ソーシャルマーケティングの企画提案		
	環境への取組について過去に受けた表彰等	横浜地域貢献企業プレミアム企業表彰、2018年よこはまグッドバランス賞、30年度かながわ地球環境賞		
本社	名称	株式会社協進印刷	所在地	同上
	総従業員数	同上	資本金	1,000万

2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

(1) 基本理念・自己宣言等

株式会社協進印刷全社員は、自らの活動が地球環境に与える影響をよく認識し、環境負荷低減基本方針に基づき持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境保全に貢献することを約束いたします。

(2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	詳細内容
ア 認証等	グリーンプリンティング認定 (参考資料 1)	グリーンプリンティング工場認定制度は、日本印刷産業連合会が認定機関となり、グリーン基準に基づき、客観的証明により認定を行い、認定マーク（GPマーク）を表示できる制度。認定基準は法令や条例に対する遵法はもちろんのこと、地域住民への環境影響（悪臭、騒音、振動等）を未然に防ぐ対策を盛り込んでいるほか、VOC発生などの大気汚染防止、廃棄物削減、リサイクル推進、地球温暖化防止など、地球規模での環境対応を基準化している https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/
イ 組織体制	環境保護推進会議	環境会議開催（月 1 回） 全社パトロールチェック、遵法チェック 環境製品開発、環境活動企画・実施
ウ チェック機構	環境保護推進会議	認定 NPO 法人産業クラスター研究会による内部監査 (参考資料 2) パトロールチェック（月 1 回）
エ その他の取組	環境製品開発 環境活動企画・実施	リユースメモ帳、リユース封筒、リユース梱包など 外部向けセミナー実施、出前授業やキャリア教育など、学校との連携、イベントでの周知活動、グリーン購入の推進、環境保護推進印刷提案シート活用での顧客への環境活動周知と環境意識向上に貢献 (Ev. 4)

(3) 取組結果等の公表・広報

CSR 報告書（年 1 回発行）、社外報（年 4 回発行）、ブログ（週 1 回アップ）、CSR 報告会での情報開示など

3 環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入

製品・技術・サービスなどの名称	詳細内容
リユース封筒 (Ev.1) 2013年～	印刷時に排出される損紙(商品として使えないものでリサイクルに出す紙。一月平均 500 kg以上)を封筒用紙として再利用することで、通常古紙リサイクルの過程(古紙回収業者がトラックで運び、製紙工場で加工する)で排出されるCO2を削減。そのリユース封筒を、お客様が社外報を送る際に活用していただくことになり、2013年から現在に至るまで、商品として生産しています。2019年11月1日現在、年3～4回発行し、のべ33,800枚の封筒を受注・制作しました。
リユースメモ帳 (Ev.2) 2015年～	上記と同じ損紙を使用し、裏紙が白いものを集めて、メモ帳を製作。リユース製品のアピールとして、35社へ配布。また、イベントに使う告知チラシを再利用しメモ帳を製作、イベント来場者へのプレゼント(配布景品)として主催者にご購入いただいたことで、紙再利用の周知にも繋がっています。
リユース梱包 (Ev.3) 2017年～	オフセット印刷に使用する、製版プレートの保護紙を包装紙として再利用し、ステークホルダーへの環境活動周知を促しています。
環境活動協力	学校や企業、地域住民に対し、環境教育の実施や環境活動の共創を進めています。 学校：環境セミナー、環境ワークファシリテーション、イベントディレクションなど 企業：環境ダイアログ、環境マネジメントセミナー、環境啓発ポスター配布など 地域住民：環境セミナー(外部講師に依頼、無料での開催)、ゴミの出し方パネル製作及び設置、地域防災環境ダイアログ定期開催、毎週月曜日の地域清掃など

4 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

※取組や活動を開始した年度も記載してください。

	取組・活動等の名称	詳細内容
(1)省エネ・CO2排出量削減の取組	環境負荷低減活動	①シートを使った環境提案営業/2007年～ (Ev.4) 受注の際に、環境に配慮した用紙とインキの使用や、リサイクルに適した表面加工と製本加工、ごみの少ない簡易包装をご案内しています。 ②省エネルギー活動/2005年～ (Ev.5) 節電、ごみ分別、クールビズ・ウォームビズ等を実施しています。 ③リユース活動/2013年～ (Ev.1～3) リユース封筒とリユースメモ帳の作成、リユース梱包の活用を行っています。
(2)廃棄物削減の取組	環境負荷低減活動	リサイクル分別の徹底/2008年～ (Ev.6) 各品目に分別、指定の場所にストックし、指定業者に処理委託することを徹底しています。また、リサイクル促進のため、ペットボトルキャップを集め、NPO法人エコキャップ推進協会(エコステーション)に提供しています。
(3)生物多様性保全等の取組	有機性揮発物ゼロ活動	2006年より、生態系への影響を踏まえ、NonVOC、Non DRAINを目指しています。まずは有機性揮発物を0にするべく、NonVOCインキを主体に切り替えました。通常のインキに比べ乾きが悪く非効率なのですが、営業システムの改善やお客様に工期の理解を得たりしながら、フルカラー印刷は現在、100パーセントNonVOCインキを使用するに至りました。ナチュラルリ ス： https://www.dic-graphics.co.jp/products/ink/sheet_feed/naturalith100.html 2007年には刷版システムを変更、現像液を使わない(排水が出ない)アズーラを導入し、Non DRAINも実践しています。 アズーラ： http://www.apogee-users.jp/products/CTPplate/azura_news.html また、環境保護印刷推進協議会に加盟し、クリオネマーク(環境に優しい生産活動を行うことを目標とする認証マーク。レベルによって、ステータスが変わる)を印刷物に添付し、製品に対する環境配慮を約束しています。 クリオネマーク： http://www.e3pa.com/clione/

(4) 社会貢献活動	出前授業	小中高校、大学に至るまで、環境保護活動についての出前授業や、ワーキングを行なっています (Ev. 7) 本年度実績：廃棄物×アートプロジェクト (玉川大学)、エコ生活周知プロジェクト (汐見台小学校)、3R 絵本制作プロジェクト (多文化共生プロジェクト実行委員会)
	環境教育	インターンや外部委託業者への環境セミナーや調査の実施 (Ev. 8) 本年度実績：インターン時の環境セミナー実施 (横浜市立大学、桜美林大学、鶴見大学)、外部委託者アンケート実施及び環境製品啓発チラシ配布

5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

取組や事業の名称	詳細内容
リユース封筒	環境配慮から、損紙で封筒を作成するようになったのですが、それがアートという土壌で付加価値として認められ、また、その商品をご購入いただくことで、持続可能な環境サイクルが構築できました。このようにビジネスと環境活動が結びつく構造をたくさん開発していきたいと思っております。
環境教育	協進印刷では実践的なインターンをしており、社内環境会議参加はもちろん、学校や大学での環境ワークにも同行させ、会話を通じてのアウトプットを大切に、アイデア創出の機会を増やしています。また、学校や企業でのファシリテーションの実績も増え、半年～1年がかりの大型プロジェクトのディレクションも行なっています。

6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

リユース封筒は、とてもわかりやすい持続可能な環境商品開発の事例として、多くのみなさんに知って頂きたいという思いから応募させて頂きました。メモ帳や包装紙なども生まれ、まだ未完成ですが買い物袋を開発中、損紙利用はまだまだ可能性がありそうです。また、小規模企業で行うこのような環境活動について、どの程度のインパクトがあるのかを検証したいとも思っています。認められれば、印刷やものづくりに関わる中小企業への環境活動活性化に繋がるのではないかと大いに期待しています。

加えてCSRとして環境を捉えることにより様々なプロジェクトが生まれ、活動の幅が大きく広がっています。例えば本年度の外部連携の一つ“エコ生活周知プロジェクト”では、小学6年生が環境について学び考え、行動に落とし込んでいくというプロジェクトのファシリテーションをしています。環境活動をしている方からのプレゼンを聞く→ストローが刺さったウミガメ画像を見る→プラ削減しよう→近くのスーパーでポリ袋使用率調査→有償化しても減らないことを知る→では、エコバッグ提案は？ということになり、そのための資金作りに募金なども始めています。3月にはイベントを行い、エコバックを周知・販売する予定。そのイベントには協進印刷のネットワークを活用し環境系NPOや企業にも出展してもらい、子どもたちの父兄だけでなく、周辺住民や先生にも啓発を図ります。

このように、環境をテーマとして協進印刷がプラットフォームを形成し、社会貢献させていただける機会が増えています。今後も多種多様なステークホルダーと関係しているという印刷業態の特性を活かし、人、団体、企業、学校、行政などが繋がることのできるハブとして、環境だけにとどまらず様々な社会課題を解決していく所存です。

リユース封筒



オフセット印刷は、綺麗な製品に仕上げるために、100枚程度を使って色を安定させます。クリエイティブプリントでは、他のメディアに色をあわせる依頼も多くあり、ときには数千枚の紙を色出しに使います。それが、この損紙です。企業規模により大小はありますが、当社では毎日平均50センチ程度積み上がっていきます。A2の大きさに2千枚。一月で約500キログラム以上に。もちろん再生紙になるように、古紙回収業者さんへ出すのですが、、

→もっとCO2を削減できる方法はないだろうか？

損紙のまま利用できないかな

[通常の古紙リサイクルの流れ]



[古紙リユースの流れ]



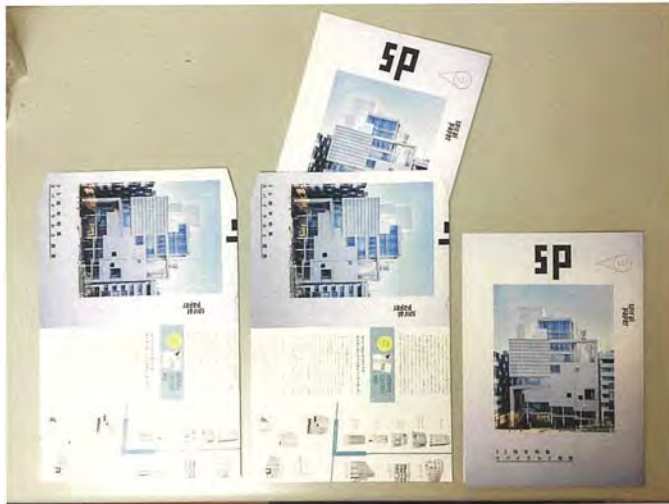
損紙を封筒にしてみました



弊社発行の社外報Joの損紙
を使って、封筒を作製

企業や団体に、機関誌や社外
報でのリユース提案を行いま
した

企業が広報誌を郵送するための封筒になりました



年3～4回発行
のべ33,800枚の封筒を受注・制作
※2019年11月1日現在

リユースメモ帳

古紙回収業者へお渡しする損紙が、



メモ帳になりました

弊社のリユース製品アピールとして35社へ配布しました。

また、このメモ帳をご覧になったイベント主催者から、来客へのプレゼントとしてメモ帳を作りたいとのお依頼があり、イベント告知フライヤーの損紙で100冊製作、ご購入していただきました。

※関内外OPEN10

リユース梱包

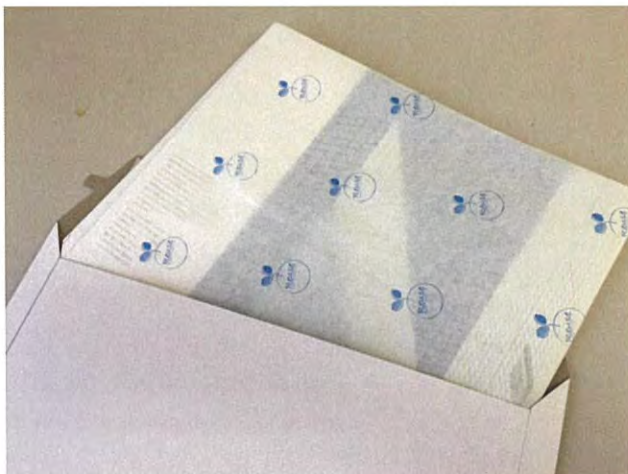


オフセット印刷で使用するアルミ版を保護する為に一枚一枚挟んである特殊紙を梱包資材として活用

←印刷用アルミ版



←この薄い紙が廃棄していた特殊紙




**梱包用紙
になりました**

今日からできる 環境保護印刷のご提案

みどりのために 用紙


再生紙（古紙100%）
古紙パルプ70%+ 森林認証パルプ

 **リサイクル適性(A)**

森林を守るため、「森が正しく管理されているか」を世界的な基準で審査するための制度のひとつが森林認証制度です。森林認証パルプとは、そのような管理された森林から産出されたことが証明されている木材を使用して作られたパルプのことを言います。


くうきのために インキ

ノン VOC インキ

 **VOC 0**

構成成分中の高沸点石油系溶剤を植物油等に置き換えて1%未満に抑えたインキです。植物油には、大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、米ぬか油等があります。植物油インキよりもさらに進んだ環境にやさしいインキで、主に枚葉平版インキで実用化されています。

植物油インキ (Vegetable Oil Ink)



石油資源の枯渇による代替バイオ燃料の需要拡大と食糧確保の調和がクローズアップされてきています。このような状況下で、食料である大豆を原料とする大豆油に限定して、環境対応型インキの原料とすることは望ましいことではありません。非食用も含めた各種植物油に拡大すること、そして廃食用油等をリサイクルした再生油を使用することも循環型社会形成において重要なことです。高沸点石油系溶剤をできるだけ減らして、大豆油、亜麻仁油、桐油、パーム油、ヤシ油、米ぬか油などの各種植物油に置換えたインキが植物油インキであり、従来の大豆油インキを包含しています。印刷インキ工業連合会は 2008 年 12 月 1 日にその定義・基準を制定しました。

そのままリサイクル 表面加工

OP ニス（オーバークラフトニス）

通常の CMYK のインキと同じように、ツボに入れて刷版ーブランケットとオフセットされてコーティングするニスで、特別な設備や装置を組み込むことがなく、印刷機そのままでも早くニスコーティングをする手法です。

プレスコート

印刷物の表面に鏡面光沢をつける加工方法で、光沢コート of 処理後に熱プレスを行う方法です。

もっとリサイクル 製本加工

リサイクル対応型ホットメルト

無線綴じ(本の背をのり付けして表紙をくるむ製本)で従来使われていたホットメルト(ボンド)がリサイクル行程で問題となり、ホットメルトのメーカーにおいてその対策品の開発が進められました。弊社ではホットメルトにそのタイプを採用し、リサイクルの支障を少しでも除去するようにしています。

- 中とじ
- 入紙

包装

簡易包装

あて紙結束梱包

チェック項目仕様で制作します。 _____ 年 _____ 月 _____ 日

件名 _____

御社名 _____

おなまえ _____ 様

●ゴールドプラス

 この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

●ゴールド

 この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

●シルバー

 この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

●Aランクの資材のみ使用の場合

 この印刷物は、E3PAのAランク基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

●Bランクの資材のみ使用の場合

 この印刷物は、E3PAのBランク基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

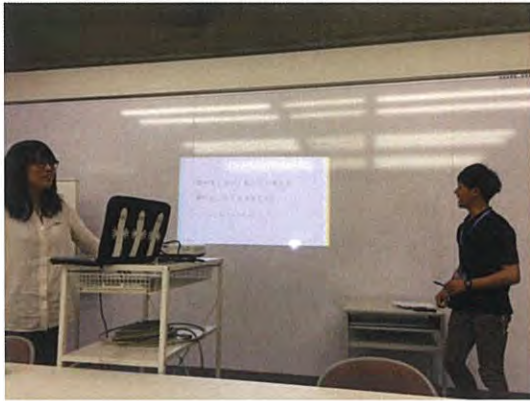
●Aランクの資材のみ使用の場合

 **リサイクル適性(A)**
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

●Bランクの資材のみ使用の場合

 **リサイクル適性(B)**
この印刷物は、紙へリサイクルできます。

学校との連携例



環境と寄付のビジネスモデル開発企画 2018年5月～7月 (玉川大学)

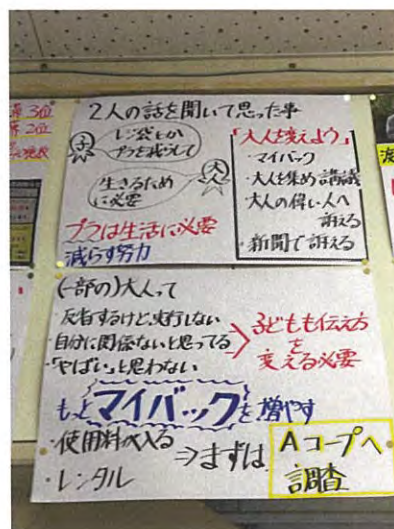
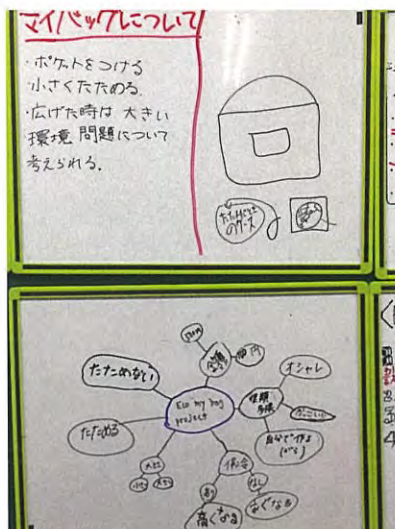
環境保護印刷技術工場見学会&連携ダイアログ

2017年3月 (鎌倉女子大学、鶴見大学、産業技術短期大学)



はまっこ未来カンパニー環境保護ワーク

2019年11月 (汐見台小学校6年生)





参考資料

グリーンプリンティング認定



環境に配慮した印刷の総合認定制度
グリーンプリンティング認定制度

一般社団法人 日本印刷産業連合会
グリーンプリンティング認定事務局

TOP	制度概要	認定工場一覧	GPマーク表示	工場申請方法	資機材認定	規程・参考資料
制度概要	制度概要 <p>● 背景と目的</p> 環境問題に対する社会的要求が高まり、印刷産業も環境に配慮した製品作りが求められています。そこで、日本印刷産業連合会（略称：日印産連）では、印刷業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」を制定しました。グリーンプリンティング認定制度（略称：GP認定制度）は、本基準を達成した工場・事業所を認定、環境経営に積極的な印刷関連企業として推奨するとともに、同基準に適合した印刷製品にグリーンプリンティングマーク（GPマーク）を表示することにより、環境に配慮した印刷製品が広く普及することを目的としています。 <p>● 概要</p> GP認定制度は日印産連が認定機関となり、日印産連「各印刷サービス」グリーン基準に基づき、客観的証明により認定を行い、認定マーク（GPマーク）を表示できる制度です。本制度は印刷形式により次の4部門に分かれています。 <ul style="list-style-type: none">● オフセット印刷部門● シール印刷部門● グラビア印刷（軟包装）部門● スクリーン印刷部門					認定状況 <p>GP認定工場 384社 GP資機材 675製品</p> <p>グリーンプリンティングPR大使</p>  <p>グリーンプリンティングPR大使 小山薫堂氏</p> <p>GPマークの仕組み</p>  <p>GREEN PRINTING JFPI P-Z10001 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。</p>

<https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/detail/id=1449#sed01>



学校との連携例

●環境のビジネスモデル開発企画 2018年5月～10月（玉川大学）

学生が環境をテーマに3チームで解決案を企画、
弊社はファシリテーションとアドバイスを行いました

A.環境×旅行

B.環境×遊び

C.環境×建築

特に成長したのがAチームで、東南アジアでのボランティア体験つき旅行パック発売から、現地での環境ワークや見学会への参加、シールやポスターで啓発、ネット予約で5パーセント現地環境団体に寄付、持続的な活動予算捻出のための企業連携など、より現実的な案を整理し、分かりやすいプレゼンを行うことができました。



●環境保護印刷技術工場見学会&環境ダイアログ

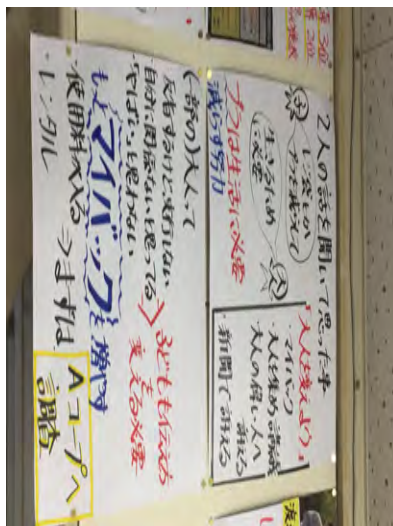
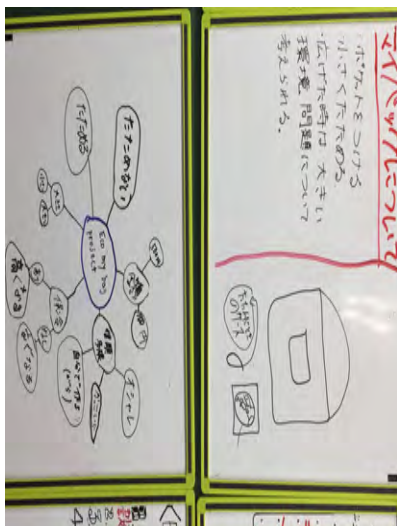
2014年3月～（横浜市立大学、鎌倉女子大学、鶴見大学、桜美林大学、神奈川大学、産業技術短期大学、高校、中学など）

インターン生や協働プロジェクトなどで知り合った学生に向け、環境保護印刷工場見学や環境セミナー、環境ダイアログを随時行なっています。



●エコ生活周知ワーク 2019年9月～（汐見台小学校6年生）

環境について学び、考え、動くプロジェクトのファシリテーションをしています。
小学生とのワークは先生との共有がとても重要で、大人が走りすぎないように調整し、時間をかけて彼らの想いを抽出し、課題を考え、行動し、結果から次のステップへと丁寧に進行してきました。協力企業集めなども弊社でプランニング、オリジナルエコバッグ作って販売するイベントの開催に向け、場所探しと資金集めに奮闘中です。



●産業廃棄物×アートプロジェクト 2019年3月～（玉川大学芸術学部）

弊社で環境プレゼンを行ったあと、スカベンジャーを知った二人の学生が、日本のゴミ問題について考え、アートで表現するまでのお手伝いを行いました。
ワーキングを重ね、多くの産業廃棄物に興味、工業地区見学会を企画・実施、工場からの廃棄物でアート作品を制作、2019年11月にアート展を開催。

